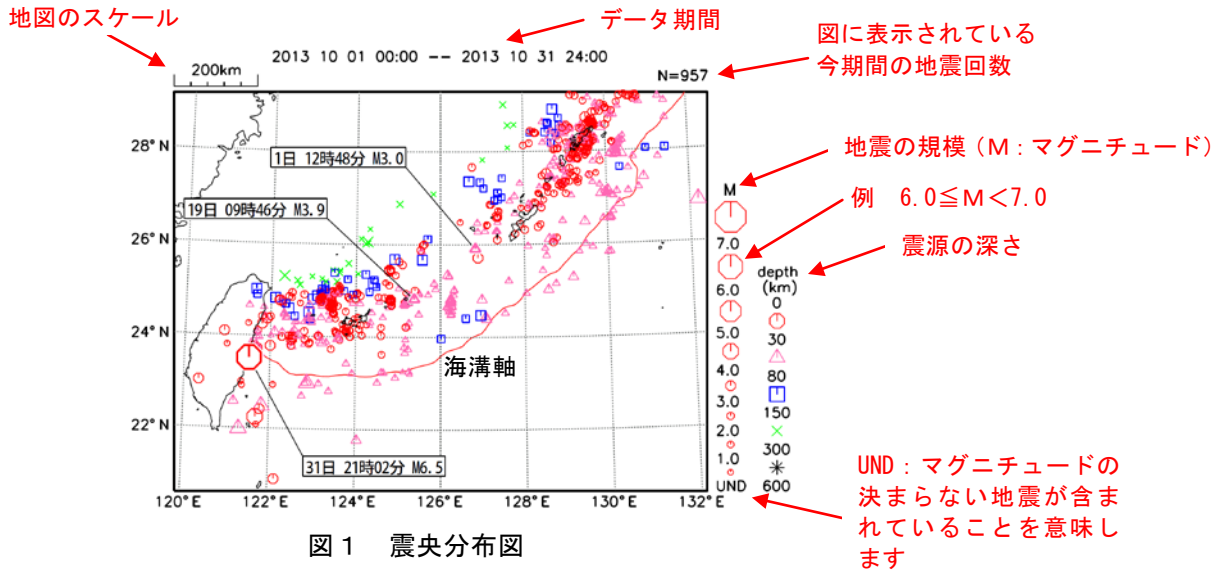


【資料で使用している図の見方】

1. 震央分布図

図1は震央分布図と呼ばれるもので、地震が発生した場所（震央）を地図上にプロットしたものです。シンボルマークの大きさと地震の規模（M:マグニチュード）を、その形と色で震源の深さを表しています。また震度1以上を観測した地震の発生日と時刻、Mを吹き出しで示します。

この図から地震の活動状況（発生場所・発生数）などを見ることができます。



2. 断面図

震央分布図（図2）で表示された範囲の左端から右端までを上辺とし、深さ方向を縦とする平面に、震源の深さ分布を投影したものが、断面図（図3）です。

プレートの沈み込む面に沿って、地震の発生する深さはだんだん深くなりますので、その分布を見やすくするために震央分布図の海溝軸が上下方向になるような断面図を示しています。震央分布図と断面図を一对で表示することにより、地震の発生状況を立体的に見ることができます。

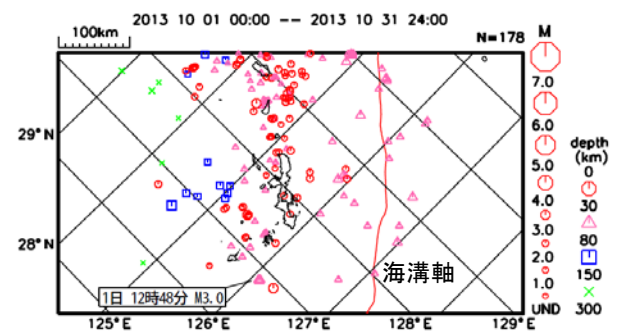


図2 震央分布図

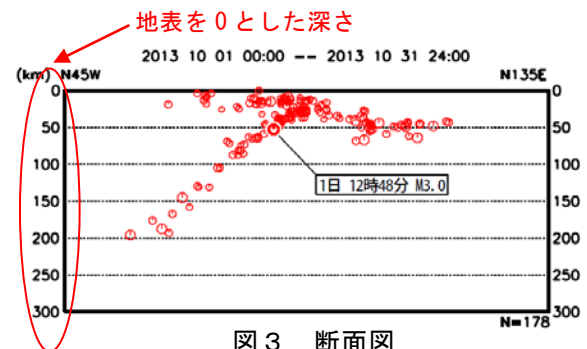


図3 断面図